

METAL EFFECTS Patina Finish Manual

取り扱いに関する注意事項

- ・ 目・皮膚に接触すると強い刺激があります。ゴーグルやゴム手袋を着用し接触を防いでください。
塗料を含んだ霧・埃を吸うと有害です。塗装の際はマスクを着用し、十分に換気のできる空間で行ってください。
- ・ 子供の手の届かないところに保管してください。
- ・ 誤って飲み込んだ時は、無理に吐き出そうとせず医師の指示を仰いでください。
目に入った時は、十分な量の水で15分以上洗い流してください。その後医師の指示を仰いでください。
- ・ 皮膚についた時は、ぬるま湯と石鹸で洗い流してください。

塗装前の確認事項

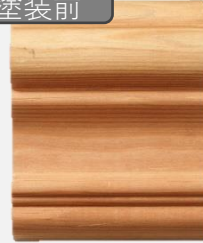
- ・ **内外装の壁、モールディング、トリム、柱、ドア、手すり、ランプ、花瓶**などの塗装に使用してください。塗装可能な素材は、金属、木材、石膏ボード、漆喰、塗装可能な壁紙、キャンバス、プラスチックなどです。
- ・ **無塗装のアルミやアルマイト処理された表面、ガルバナイズ(亜鉛めっき)された金属、銅管、錆びた金属**などに塗る場合は、当商品のプライマーの前に各素材に対応した別のプライマーをご使用ください。
- ・ 塗装には、ブラシ、スポンジ、ローラーを使用してください。
メタル・エフェクツ関連の塗料は全て水性です。塗装に使用した道具は、水で速やかに洗浄してください。
- ・ 10～30度の環境で使用してください。
乾燥時間は、温度が高く、湿度が低いほど早まります。ステップ1と4はドライヤー(温風)によって時間を短縮することも可能です。
- ・ 錆の進行は、温度・湿度ともに高いほど早まります。
塗料の使用後はしっかりと容器のフタを閉め、直射日光の当たらない、涼しく、乾燥した場所で保管してください。特にアイアン・ペイントは錆が進行しやすいです。

メタル・エフェクト 緑青の塗装手順

ステップ1. プライマー

- ・ ステップ2のペンキの食い付きを高める。
- ・ 目止めをして下記ステップ2の無駄な消費を防ぐ。ステップ2の金属粒子を表面に留め、ステップ3の効果を高める。
- ・ ステップ3で発生させる錆の影響から、塗装対象を守る。

塗装前



塗装後



塗装回数	2回
塗装可能面積（2度塗り）	プライマー 59mL・・・0.45m2
塗装ポイント	・ 塗装面の付着物は予めできるだけきれいに取り除いてください。ツルツルした面に塗装する場合は、予めヤスリがけをして塗装面の食いつきを高めてください。 ・ 2度塗り以上塗り重ねて厚さ0.1mm以上の塗膜を作るようにしてください。
注意事項	・ アルミの素地、亜鉛メッキされた金属、錆びた金属には塗装できません。 ・ 希釈しないでください。
乾燥時間	塗り重ねまで・・・30分 完全乾燥まで・・・12時間

ステップ2. メタル・ペイント（ブロンズ）

- ・ 当製品に含まれる金属粒子とステップ3の酸化促進剤が化学反応し、短時間で本物の緑青が発生する。
- ・ ブロンズ(青銅)または銅(赤銅)のようなメタリックな質感を作り出す。

塗装前



塗装後



塗装回数	2回
塗装可能面積（2度塗り）	ブロンズ・ペイント 59mL・・・0.43m2
塗装ポイント	・ 容器を振り、よくかき混ぜてから使用してください。 ・ 1度目は乾燥手前で叩くように(角を立てるように)塗装し、塗膜に凹凸を作っておくと、ステップ3の錆を発生させた時にリアルな質感が得られます。 ・ 必ず2度目の塗装の乾燥前(触れると手に着く状態の時)にステップ3を塗装してください。乾燥後に塗装すると発生させた緑青が取れやすくなります。
乾燥時間	塗り重ねまで・・・30分 完全乾燥まで・・・1時間

メタル・エフェクツ 緑青の塗装手順

ステップ3. ブルー・パティーナ（酸化促進剤）

- ステップ2のペンキに含まれる金属粒子と化学反応によって、短時間で本物の錆を発生させる。

塗装前



塗装後



塗装回数	発生させたい錆の量によって変わります。
塗装可能面積（目安）	ラスト・アクティベーター 59mL・・・0.6m2
塗装ポイント	必ず2度目の塗装の乾燥前(触れると手に着く状態の時)にステップ3を塗装してください。乾燥後に塗装すると発生させた緑青が取れやすくなります。
	・ 多く塗布した場所ほど錆が多く出ます。
	・ 付属のスプレー・キャップを使用することで均等に液剤を噴霧することができます。
注意事項	・ 錆を出す他に下地の色をくすませる効果があります。ステップ2の画像と比べてみてください。
乾燥時間	塗り重ねまで・・・5分 完全乾燥まで・・・30～40分

よくある質問

Q. メタル・エフェクツのプライマーの代わりに、一般的な下地剤を使用できるか？

A. メタル・エフェクツのプライマーは専用に調合された商品です。ステップ1に一般的な下地剤を使用すると、ステップ2以降の塗膜が剥がれてしまったり、ステップ3を塗布しても思ったように錆が出ない可能性があります。

Q. メタル・エフェクツの酸化促進剤を、実際の金属に塗布して錆を発生させることができるか？

A. 鉄や銅など実際の金属に対してもある程度は作用します。ただメタル・エフェクツの見本のような仕上がりにはなりません。また身の回りの多くの金属は耐腐食性を持たせた合金です。その場合は酸化促進が作用しません。

Q. 必ず3ステップ全てを塗装する必要があるか？

A. ステップ2は省略できません。

次の条件を全て満たす場合は、ステップ1が省略可能です。

塗装対象が、塗料の吸い込みが激しい素材(木材等)ではない場合。

塗装対象が、水性ペンキの食い付きが良い素材である場合。

塗装対象が、錆の影響を受けない、または受けても問題ない素材である場合。

※その他

緑青の塗装で、乾燥前のステップ2がステップ3で発生した錆と一緒に固まるため、乾燥後に乾拭きすれば付着はある程度防ぐことができます。